

映像で理解する 吸引の技術

監修 岸あゆみ, 城山敏江, 日高朋美
北野病院 看護部 教育研修室
指導 中村あづさ

収録時間 約 36 分
定価 30450 円 (本体 29000 円 + 税 5%)
株式会社 ビデオ・バック・ニッポン
(総販売元) 京都科学



社会情勢、医療情勢の変化に伴い、看護師には多種多様な知識・技術が求められている。しかし、最近では、結婚・介護などで離職した後、復職してくる者が増えており、基礎教育を終えたばかりの新人看護師も多い臨床現場での実践能力は十分とはいえない状況にある。安全な医療・看護を提供するには、入職後の教育が重要となっている。

当院看護部には部署の教育の支援や教育環境の整備、研修運営など教育体制づくりを担う教育専従看護師が配置されている。新年度の4月は、新人看護師と復職者に対し、基本的な技術・知識・態度についての集合研修を行っている。

今回のテーマである「吸引」は、看護

師のみならず介護職員や理学療法士、在宅においては家族も実施できる行為である。吸引を必要とする患者に、速やかに安全に行なわなければ生命に関わる重要な技術であり、指導者側は、安全に実施できるように、講義と演習を交えた研修を行なうため、準備には多くの時間と労力を費やしている。

このDVDは、新人看護職員研修ガイドラインにある“看護技術を支える要素”がほぼ網羅されており、とても見やすく、ポイントを押さえた内容になっている。「1 吸引のための基礎知識」「2 口腔・鼻腔吸引」「3 気管内吸引」の3部構成で、1, 2に関しては介護職員にも指導しやすくなっており、3も“気管カニューレ”“気管内挿

管”“閉鎖式吸引”に分けて、丁寧にまとめられている。

さらに1に関しては、“吸引の適応”“呼吸器の解剖”“吸引実施前・実施中・実施後の観察”“感染防止”で重要箇所が強調されており、実践的な点を評価したい。演習の際も場面を確認しながら進めることができるため、研修での使用に適している。以下に、このDVDの優れた点を挙げる。

- ・「口腔・鼻腔吸引」と「気管内吸引」に関しては、個々に必要物品の準備から片付けまで収録され、場面ごとに使用できるように収録されている。

- ・一度見た後でポイントや手技が詳しく解説され、行為一つひとつの根拠が理解できる内容にまとめられている。

- ・「こんなときどうする？」では、実際に吸引を行なううえで疑問に思う内容が説明されており、Q & Aにすることで強調され印象に残る形でまとめられている。

- ・PPEの着脱や手指の清潔も基本に基づいて行なわれており、感染予防に関しても学べる。

- ・手技だけでなく、患者さんへの配慮・声かけなども具体的に学べる。

- ・介護職員の場合、看護師や医師に連絡を取るタイミングが含まれており、判断基準を学べる内容である。

ただ、気になった点としては、吸引チューブのサイズの選択に関する説明や肺音聴取の際の聴取部位が取り入れられていなかった。この点は、補足して指導する必要がある。

このDVDは、病院、学校、施設で幅広く活用していけるお勧めの1枚である。

“看護技術を支える要素”をほぼ網羅

〔評者〕 吉富若枝 医療法人財団 荻窪病院副看護部長